



## 蔵王の森通信

No.36 2019年4月

発行：NPO 法人蔵王のブナと水を守る会  
(ナショナル・トラスト事務局)

〒989 - 0231 宮城県白石市福岡蔵本字滝下 102

ホームページ：<http://www.zao.org/>

例年3月の活動日の植林地は5~60cmの圧雪があるのですが、今年はすっかり雪が消えていました。ふきのとうも出ていて、ちょっと驚きでした。

元号改元の大型連休もあり、いつもは5月に行っている「春を食べる会」を少し前倒しして開催する事にしました。どんな春のめぐみをいただけるのか楽しみです。

皆様も是非、ご家族やお友達を誘ってお出かけ下さい。

### 《春を食べる会&ブナの森コンサート》

今年の「春を食べる会」は、大型連休の2日目に行います。いつもより少し早いのですが、スマレやカタクリ、オオヤマザクラなどは、最近開花が早まっていますので、ちょうど見頃となるのではないのでしょうか。

午前中は、会員の説明を聴きながら自然観察路を歩いて頂きます。春の妖精と呼ばれる花々をゆっくりご覧ください。また、植林した木々がかなり大きくなっていますので、樹木名板で樹種を確認しながら歩くのも楽しいですよ。

森を歩いてお腹を空かせたら、いよいよお待ちかねの「春を食べる会」(昼食)です。暖かい日差しを浴びながら、山菜や野草、木の芽の天ぷら、あえ物、お吸い物など、蔵王の春を存分に味わってくださいね。

お腹がいっぱいになったら、午後は、「第3回 ブナの森コンサート」の始まりです。春の森に響きわたる、女性コーラスやクラリネットの演奏をごゆっくりお楽しみください。

日時：4月28日(日) 午前10時~午後2時 (受付9時30分)

場所：蔵王のブナと水を守る会 丸太小屋

参加費：大人600円(保険料込)、小学生以下100円(保険料)

持ち物：昼食(ご飯のみ)、飲み物、皿、お椀、箸、雨具、軍手、長靴

申し込み締め切り：4月20日(土)

※ホームページ (<http://www.zao.org/>) に申込用紙をアップしています。

メールにてお申込みください。( e-mail [mail@zao.org](mailto:mail@zao.org) )

## 《 6月 森づくりイベント 》

### 〈不条枝の枝打ち・間伐（子どもは鋸の体験）、観察路散策〉

日時 : 6月9日(日) 午前10時～午後2時  
場所 : 蔵王のブナと水を守る会 丸太小屋  
受付 : 午前9時30分  
10:00 開会(丸太小屋前)  
10:15 作業開始  
12:00 昼食(丸太小屋前)  
13:00 自然観察路散策  
14:00 解散  
参加費 : 大人600円(保険料込)、小学生以下100円(保険料)  
持ち物 : 昼食、飲み物、雨具、軍手、長靴  
申込み締め切り : 6月1日(土)

## 《 7月 森づくりイベント 》

### 〈木工作业・草木染め体験〉

日時 : 7月14日(日) 午前10時～午後2時  
場所 : 蔵王のブナと水を守る会 丸太小屋  
受付 : 午前9時30分  
10:00 開会(丸太小屋)  
10:15 作業開始  
12:00 昼食(丸太小屋前)  
13:00 作業  
14:00 解散  
参加費 : 大人600円(保険料込)、小学生以下100円(保険料)  
持ち物 : 昼食、飲み物、雨具、軍手、長靴  
申込み締め切り : 7月6日(土)

主催 : NPO 法人蔵王のブナと水を守る会

丸太小屋住所 : 白石市福岡八宮字不忘山342-3

問い合わせ : TEL&FAX 022-248-5334(事務局)

※ホームページ( <http://www.zao.org/> )に申込み用紙をアップしています。

メールにてお申込みください。( e-mail [mail@zao.org](mailto:mail@zao.org) )

※場所の分からない方や電車利用の方はご連絡ください。

【 2018年現在の植林地 】

リスの森、アナグマの森、彩遊の森で8mを超えている樹種と本数 (胸高直径の平均値)

1. リスの森 (2018年4月)

樹種	本数	平均径
ケヤキ	10本	16.18 cm
オオヤマザクラ	1	13.40
ミズキ	7	16.10
カツラ	2	13.05
ウワミズザクラ	4	14.15
コナラ	2	14.50
ドロヤナギ	1	18.80
アサダ	9	13.20
ミズメ	2	14.80
ミズナラ	6	13.30
44本		

2. アナグマの森 (2018年4月)

樹種	本数	平均径
ドロヤナギ	3本	17.30 cm
ミズナラ	13	13.60
イタヤカエデ	9	13.10
アサダ	8	13.50
コナラ	3	16.60
ウダイカンバ	1	8.00
オオヤマザクラ	10	13.40
ミズキ	11	15.00
ミツデカエデ	2	15.80
イヌザクラ	1	17.50
ウワミズザクラ	23	15.30
ブナ	4	13.50
ケヤキ	2	15.00
90本		

3. 彩遊の森 (2018年4月)

樹種	本数	平均径
オオヤマザクラ	4本	15.40 cm
ミズメ	9	13.10
イヌザクラ	2	14.50
イタヤカエデ	1	14.00
ウワミズザクラ	1	14.60
ミズキ	1	15.90
18本		

“ 針広混交林実験地について ”

仲村得喜秀

針広混交林実験地

- ・ 植林前の植生はススキ、ヌカボなどの生い茂る農地跡。実験地の下部はカラマツ植林地。上部は、ブナ、ミズナラ、コナラ、クリなどの小さな森となっている。
- ・ 実験地の面積は幅約10m長さ約100mの1000 m<sup>2</sup>位。
- ・ 杉の初植林は、2003年6月25日。土砂降りの雨の中250本位植林。
- ・ 実験地のカラマツ植林地側には、そこからの1m内外に伸びた実生苗が数十本育っていた。

- ・落葉広葉樹の植林は、2003年以降数年をかけて植えていった。  
カツラ、オオバボダイジュ、ケヤキは山取り苗を用いた。  
ブナ、ハルニレ、ミズナラは苗畑で育てたものを用いた。  
トチは実を直接実験地にまいた。  
自然に実験地の中に生えてきたものは、ホオノキ、クリ、コナラ、ウダイカンバである。
- ・伸びの計測は2017年と2018年のそれぞれ4月に行っている。
- ・針広混交林実験地は、現在のリスの森の中にある。
- ・2018年現在のスギの伸びは5～8m、カラマツは10～15mである。実験地の標高は700m近くありスギは寒さと雪に強い挿し木苗を使った。

＊針広混交林実験地を作ろうと思ったのは、針葉樹のみのこの国の林業に一石を投じてみようという目的である。施工法は確立されていないので実験地とした。  
考え方としては針葉樹の間に有用落葉広葉樹を植え、針葉樹の直伸性を生かし、有用広葉樹も共に直進するような森にしたいという事である。  
針葉樹であれ、広葉樹であれ、材はまっすぐな方が利用しやすい。  
土壌を肥よくにして、生態系を豊かにするという目的もあるので、広葉樹が大きくなった時は、隣接している針葉樹は伐採する事になるが、その材はもちろん利用する。100年単位の計画なので、当然私達は結果を目にする事はできない。しかし、その途中経過を知る事で、ある程度の予測はできると思う。いずれにしても後継者を育成する事が大事である。

### ★ただ今、森の教室の参加者を募集中です！

毎月第4日曜日に樹木について学ぶ教室を開催しています。四季折々の森を体感できます。自然に関心のある方、ぜひご参加ください。親子での参加もOKです。  
お申し込みは事務局までお願いします。

### ★ホームページもご覧ください

定例会や森の教室などの活動を、当会のホームページに「活動報告」として掲載しています。写真も多数紹介していますので、お時間のある時にぜひご覧ください。  
また、正会員用のグリーンレンジャーニュースも毎月掲載しております。

### ナショナルトラスト基金報告

ナショナルトラスト基金をお寄せいただき、ありがとうございました。

2018年1月～12月の累計は、以下のとおりです。

2018年度件数 22件

2018年度金額 119,000円